

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2009-170685(P2009-170685A)

【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-7700(P2008-7700)

【国際特許分類】

H 01 G 4/18 (2006.01)

H 01 G 4/015 (2006.01)

【F I】

H 01 G 4/24 301C

H 01 G 4/24 301F

H 01 G 4/24 321E

H 01 G 4/24 331B

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

誘電体フィルム上に金属蒸着電極を形成した金属化フィルムを一対とし、上記金属蒸着電極が誘電体フィルムを介して対向するように重ね合わせて巻回した素子と、

この素子の両端面に金属溶射によって形成された一対のメタリコン電極からなる金属化フィルムコンデンサにおいて、

上記金属化フィルムとして、誘電体フィルムの幅方向の一端側に非金属蒸着部からなる絶縁マージンを長手方向に連続して設けると共に、

この絶縁マージンから他端側に向かって非金属蒸着部からなる横マージンを設けることにより複数の分割電極が形成され、

かつ、誘電体フィルムの長手方向に亘って非金属蒸着部からなる縦マージンを設け、この縦マージンと横マージンの少なくとも一方が、金属化フィルムを巻回して素子を作製する際の走行方向に対して傾斜するようにしたものを用いた金属化フィルムコンデンサ。

【請求項2】

金属化フィルムに設けられる横マージンを山形状または円弧状にし、この山形状または円弧状の頂部が金属化フィルムを製造する際の誘電体フィルムの走行方向に向かうようにした請求項1に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項3】

縦マージンまたは横マージンにヒューズ部を設けることにより、複数の分割電極を夫々並列接続した自己保安機構を設けた請求項1に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項4】

金属化フィルムを構成する誘電体フィルムとしてポリプロピレンフィルムを用いた請求項1に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項5】

ポリプロピレンフィルムとして厚みが3μm以下のものを用いた請求項4に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0016**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0016】**

上記課題を解決するために本発明は、金属化フィルムコンデンサを構成する金属化フィルムが、誘電体フィルムの幅方向の一端側に非金属蒸着部からなる絶縁マージンを長手方向に連続して設けると共に、この絶縁マージンから他端側に向かって非金属蒸着部からなる横マージンを設けることにより複数の分割電極が形成され、かつ、誘電体フィルムの長手方向に亘って非金属蒸着部からなる縦マージンを設け、この縦マージンと横マージンの少なくとも一方が、金属化フィルムを巻回して素子を作製する際の走行方向に対して傾斜するようにした構成のものである。